

切磋琢磨

令和元年5月9日
恵那市立恵那東中学校
恵那市大井町 1073-1
TEL (0573) 25-5261

『形』が「当たり前」になった第1ステージ

校長 伊藤勝彦

31年続いた平成の時代が終わり、令和という新しい時代になりました。それと同時に、平成の終わりを告げる第1ステージ『形』が終わり、令和の第2ステージ『繋』がスタートしました。東中の黄金期にふさわしく、たいへい多くの成果のあった第1ステージでした。

新年度に入り、各学級・学年とも価値ある事実が数多くつくられました。そして、それが「当たり前」のこととして位置付いた第1ステージでもありました。さわやかな挨拶が校舎の至る所で交わされます。朝の会の前には静かな中で読書する姿があります。授業は3分前には着席し、授業前学習が始まっています。仲間との息の揃った挨拶で授業が始まります。どの学級・学年でも意欲的に授業が行われ、教室中に真剣さが漂っています。先日行われた授業参観でも生徒の意欲的な学習の姿をご覧いただけたと思います。4時間目が終わると、どの学級からも給食当番が一斉に配膳室に向かいます。教室では、配膳読書を行い、配膳がスムーズに進むようにしています。素早く美しい給食配膳がどの学級でも行われています。生徒の組織的な動きがないとなかなかできません。昼休み後の掃除ではオルゴール前に整列し、挨拶後、掃除が始まります。無言清掃です。全身全霊で床を拭く姿があります。移動教室の授業時の教室では、整理整頓された教室の姿があります。「空き教室の美」です。

このような日常生活の風景が恵那東中学校にはあります。学級では「〇〇組の誇れる事実」とか「〇〇組の当たり前」「〇〇組の価値ある事実」など、それぞれに価値ある事実として位置付けています。生徒たちはすべての基本である日常生活を、目標をもって取り組み、その質を高めようとしています。そして、その質が確実に高まってきています。黄金期の恵那東中学校にふさわしい第1ステージの生徒の姿でした。

■第1ステージの各学年のすばらしさ

第1ステージの各学年にはすばらしい姿が数多くありました。とくに顕著であったものを紹介したいと思います。

3年生は東中学校の「顔」にふさわしくすべての生活を質高く送っています。中でも授業の姿に目を見張るものがあります。前向きであることはもちろんですが、多くの生徒が挙手をして堂々と発言しています。発言の質もたいへん高く、仲間と学ぶことに喜びを感じているように感じられます。「授業」が東中の4つ目の柱にしようとする学習委員長の小林くんをはじめ生徒たちは意気込んでいます。

2年生は東中学校の「幹」にふさわしく昨年の上に立って様々な活動の質を上げようと取り組んでいます。中でも顕著だったのは、活動への取り組みぶりです。第1ステージの終盤にあったスタートダッシュキャンペーンの際の生徒の動きには目を見張るものがありました。取組に対する意識の高さと動きは全校でも軍を抜いていました。これからの2年生の動きが楽しみです。

1年生は、入学して3週間。にもかかわらず各学級にまとまりが生まれています。先日の授業参観でも、生徒の学級の親密度を感じられたと思います。これからさらに中学校の生活の基礎・基本を身につけ、東中学校の基盤となることが期待されます。

■お礼

お忙しい中、平成最後の授業参観並びにPTA総会・学年総会に多くの方にお越しいただき誠にありがとうございます。各学年とも、よりよい学年にしていこうという意気込みでいっぱいです。令和になっても引き続き、恵那東中学校への温かいご声援をよろしく願いいたします。

